

II - B - 3

放射線治療に伴う造血機能障害に対する
人參養栄湯の臨床的検討

1) 徳島大学医療技術短期大学部 2) 徳島大学医学部

○竹川 佳宏¹⁾ 原田 雅史²⁾

【目的】 個人差はあるが、放射線治療に伴う放射線宿酔症状、白血球減少等の造血機能低下、口内炎や下痢等の粘膜反応は、患者にとって厄介な問題であり、Quality of treatmentの面からも対処が急がれる。今回我々は放射線治療時の副作用防止の目的で、主として造血臓器障害に対する人參養栄湯の効果を検討した。【対象と方法】 過去2年間に徳島大学医学部附属病院放射線科に入院した子宮頸癌8例、乳癌6例、肺癌1例に対して放射線治療と共に、人參養栄湯で非投与群をおいた群間比較試験を施行した。年齢は39歳～65歳（中央値50.3歳）であった。放射線治療はLinac 6MV X線（乳癌症例には電子線照射を併用）にて50Gy以上を照射した。人參養栄湯投与群（子宮頸癌5例、乳癌2例、肺癌1例）には人參養栄湯エキス細粒又はエキス顆粒を1日7.5g～9.0g毎食前30分で連日服用にて、放射線治療終了までは継続させた。【結果】 白血球数の推移は、人參養栄湯投与群、非投与群ともに放射線治療開始後2週間は急速な低下が見られるが、前者においてはその低下は抑制されている。特に好中球数の推移で、この抑制効果は顕著に認められた。血小板数の推移でも同様に減少抑制効果が著明であり、早期よりの回復も認められた。ヘモグロビン値の推移は、人參養栄湯投与群、非投与群ともに放射線治療に伴う低下は認められなかった。【考察】 十全大補湯から川芎を除き、補血安神の遠志と陰陽双補の五味子・理気の陳皮を加えたのが人參養栄湯で、気血双補剤である。放射線治療中に発生する急性障害の予防は、下痢に対する柴苓湯[®]や口内炎に対する柴朴湯[®]で有効であった。今回は、造血機能障害に対し、人參養栄湯での群間比較試験を行った。【結論】 人參養栄湯は、放射線治療に伴う造血機能障害に対し、白血球、特に好中球数の減少抑制効果と、血小板数の減少抑制効果が示唆された。【引用文献】 ①竹川佳宏ら：子宮癌放射線治療における柴苓湯の臨床的検討。和漢医薬学会誌 8, 278-279, 1991. ②竹川佳宏ら：口腔癌の放射線治療における柴朴湯の臨床的検討。第43回日本東洋医学会学術総会要旨集、9, 79, 1992.